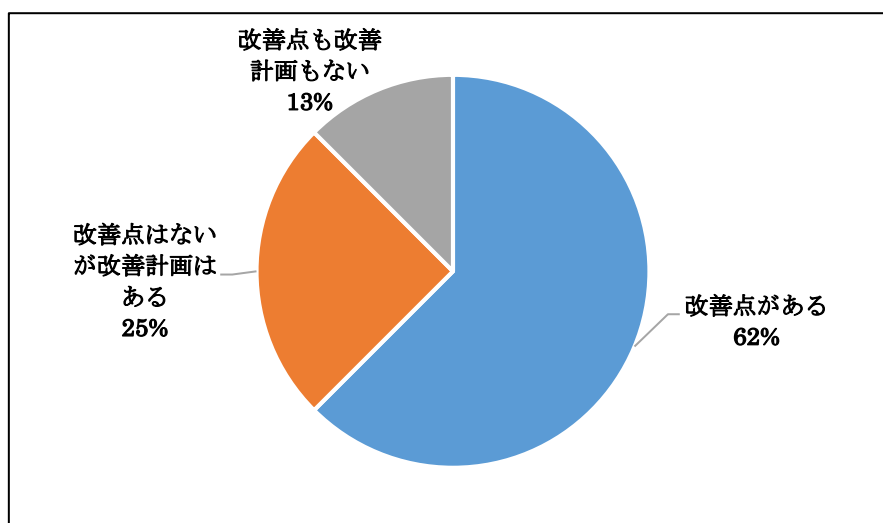


**平成 28 年度公立大学協会図書館協議会中国四国地区協議会研修会
フォローアップアンケート結果報告書**

『広報力が図書館を変える－図書館員のための PR 実践講座－』

- 1 調査期間 2017 年 3 月 9 日－3 月 31 日
- 2 主 催 公立大学協会図書館協議会中国四国地区協議会
- 3 内 容 基調講演、ワークショップ
講師：仁上幸治 氏（図書館サービス計画研究所代表）
- 4 参加者数 25 名
- 5 回答者数 8 名（回答率 32%）

1. 研修会参加後、広報に関する所属館での改善点・改善計画はありますか。



2. 改善点・改善計画の具体的な内容は何ですか。

- 広報計画を見直し、効果の薄いと考えられる広報物を廃止した。一方、ホームページを全面的にリニューアルし、内容を充実させる計画で準備中である。
- 職員の名刺のデザインを共通のものにする予定。
- 掲示物のレイアウト等の見直しを行った。
- 「返却」「貸出」のサインや、利用案内、ポスターを見直し、再作成した。
- 地域の公立図書館と連携して広報を行うこと。
- 「返却日」を「返却期限」と変更した。
- 掲示物を整理し、見やすいように貼り換えをした。今後も、見出しを付ける等、改善していきたい。
- 名刺を持ち歩くようになった。また、新任職員用の名刺フォーマットを用意した。

3. 広報以外に関することで、研修会をきっかけに新しい取り組みがあればご

記入ください。

- 指定図書制度の導入を検討している。
- 研修会がきっかけになったことは特になし。
- ありません。
- 同じチームだった方と研修後、連絡を取り合ったこと。
- 全てにおいて「見せ方」を意識するようになりました。

(記録：泉（愛媛県立医療技術大学図書館）／2017.4.14)